

# 吐物処理の方法について

- この資料は、ノロウイルス(感染性胃腸炎)感染者の吐物の処理方法を具体的にイメージしていただくために作成しています。
- 実践では、嘔吐時の状況、作業者人数、施設環境により、臨機応変な工夫が必要です。



# 吐物処理のポイント

- ① 作業者自身が感染しないこと
- ② 汚染を広げないこと
- ③ 消毒は、**確実に**行うこと

## ポイント①

# 「作業者自身が感染しないこと」

- 感染者の吐物1g中には、数百万～数億のノロウイルスが含まれ、吐物とその周辺の空気中に飛沫が浮遊しています。
- 使い捨てマスク、手袋、エプロンを正しく使い、感染を防ぎましょう。



## ポイント②

### 「汚染を広げないこと」

- 目に見えない吐物が飛び散った床・壁や、それらに触れた手・靴底にはノロウイルスが付着している可能性があります。
- 作業場所を汚染区域と清潔区域に分け、意識して作業しましょう。

## ポイント③ー1

### 「消毒は、**確実に**行うこと」

- 吐物の中心から半径約2mの範囲内をもれなく消毒してください。
- 消毒する場所の材質に適した消毒薬の種類と濃度をきちんと確認し、十分な量の消毒液が全面に行き渡るように拭き上げます。
- 消毒液が付いた状態で約10分保持します。

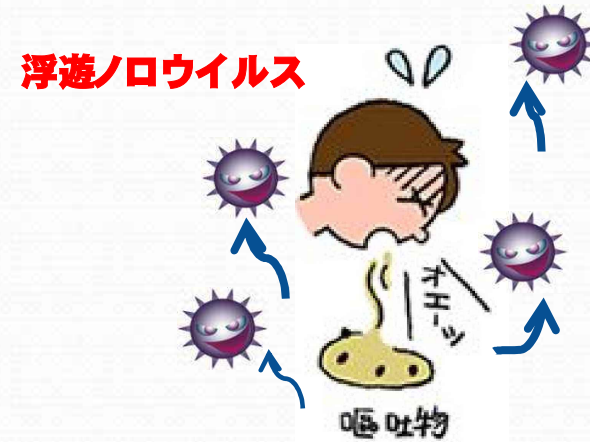
## ポイント③ー2

### 「消毒は、**确实**に行うこと」

- 吐物の塊があるとその有機物と次亜塩素酸ナトリウムが反応して消毒液が効きません。
- 吐物を取り除いた後の床等は0.2%次亜塩素酸ナトリウム消毒液の膜ができるようにかけ約10分間浸してください。



# ①同室者を移動させる

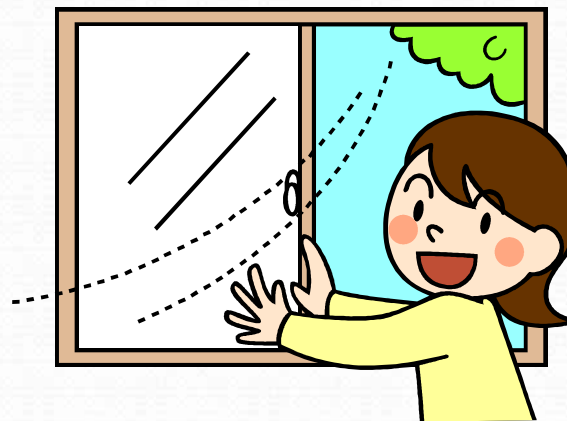
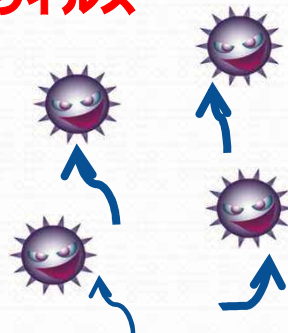


- 室内に、ノロウイルスを大量に含んだ吐物の飛沫が浮遊します。
- ほかの人に感染させないため、まずは、他の部屋へ隔離しましょう。



## ②部屋の換気をする

浮遊ノロウイルス



窓を開ける

- 室内にノロウイルスを大量に含んだ吐物の飛沫が浮遊するため、換気により、飛沫を屋外へ排出します。
- (あとで使用する)消毒薬から発生する塩素ガスを吸い込まないようにします。



### ③物品を準備する



- 吐物用の消毒液は、0.2%次亜塩素酸ナトリウムを使用します。
- 希釈した次亜塩素酸ナトリウム液は日光で急速に効力が低下します！（濃度、有効期限、保管場所に注意ください。）

## 吐物処理の準備品例(セットとして常備)

◆使い捨て手袋 (1人2組) \* 数量は目安です。以下同じ。

◆使い捨てマスク (1人1枚)

◆使い捨てエプロン (1人1枚) \* 長袖のものが望ましい

◆ペーパータオル(白色) \* もめん・合成繊維布が最適

◆ビニール袋 (45ℓゴミ袋→2枚、レジ袋5枚)

◆消毒薬 \* 基本的に次亜塩素酸ナトリウムを使用します。

商品名:ハイター、ブリーチ、ピューラックス等(原液は5%程度)

成分名:次亜塩素酸ナトリウムを確認

◆バケツ (廃棄物持ち運び用)

◆2Lペットボトル (消毒薬を入れる容器) ◆はさみ

# ※ゴミ袋を準備する※

バケツは清潔区域に置き、汚染区域には持ち込まない。



- バケツにゴミ袋を2重にしていれ、内側袋に吐物などを入れます。外側の袋は液漏れの際の防護用です。
- 2枚の袋の縁は、汚染がないように、それぞれを反転して外側に巻き込んでおきます。

# ※ペットボトルをレジ袋に入れる※



●キャップは、清潔区域に置きます。

●誤飲防止等のため消毒薬名、濃度を表示します。

●ノロウイルスで汚染された手で、ペットボトルに触れる可能性があるので、直接ペットボトルに触れず、後で袋だけ廃棄します。



## ④ マスク、手袋、エプロン等を着用する



★重要★マスクは、ノロウイルスを吸い込まないように次の手順で正しく装着しましょう。

- ①上部の内蔵ワイヤーを上にして鼻にあて、鼻の形に合わせてワイヤーを曲げて密着させる。
- ②あごの下まで、下端を伸ばし、頬と顎が密着するように整える。
- ③マスクの外側は絶対に触れない。

## ⑤吐物をペーパータオル等で覆う



- 吐物等は、乾燥すると床にこびり付き、除去しにくくなるため、乾燥させないようにします。
- 乾いた吐物等が、風などにより飛散しないようにします。

# ※吐物処理(消毒)の範囲※



- 消毒する範囲は、目に見えない吐物の飛散を考え半径約2m以内の汚染区域内を目安にします。

## ⑥吐物に消毒液をかける



- ここでは、吐物の消毒が主目的ではありません。  
あくまで吐物を乾燥させず、ふやかす(落としやすくする)ことが目的です。(ふやかす目的なので、消毒液でなくてもかまいません)
- 吐物の塊に対する消毒効果は期待できません。



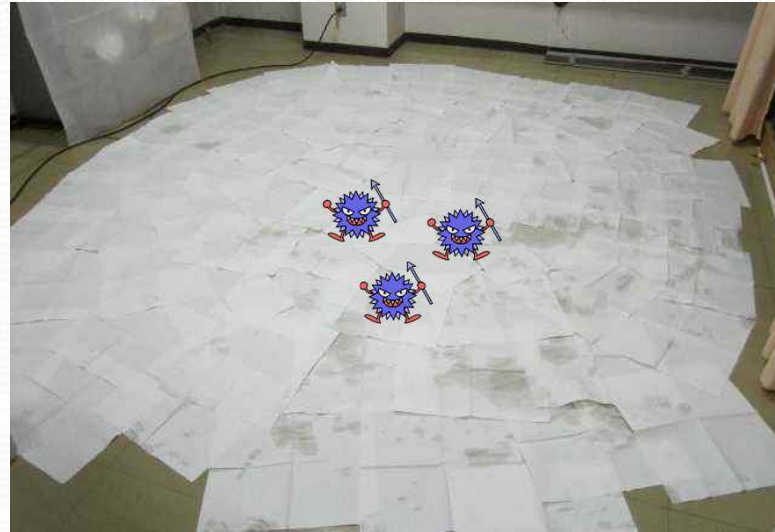
## ⑦目に見える吐物を取り除く



この段階では、まだ消毒はできていない！

- 吐物を包込むようにペーパータオルを外側から中心部に寄せ集め、レジ袋に入れ、密封してバケツに入れる。
- 吐物に汚染された範囲を広げないように注意する！

## ⑧床にペーパータオル等を敷く



- (吐物除去後であり) 汚れは目で見えませんが、床に残存しているウイルスを消毒するための作業です。
- 紙では消毒薬が反応・消費されてしまうので、白色のきれいな布(雑巾やシーツ等)が一番良いが、無い場合は白い紙タオルを用います。新聞紙や色のついた紙は不適

## ⑨床の消毒を行う

- ペーパータオルの上から消毒薬をかける。



- ノロウイルスは、消毒薬(0.2%次亜塩素酸ナトリウム液)に10分以上漬け込むと、適切に消毒できます。
- 床面をしっかりと濡らすことが重要です。
- まずは中心部を覆いながら、消毒液をかけていきます。そして、周辺部を覆いながら、処理者が踏んだところをまんべんなく消毒していきます。



# ※ペットボトルを清潔区域の近くに置く※





# ⑩靴カバーをはずす



汚染区域

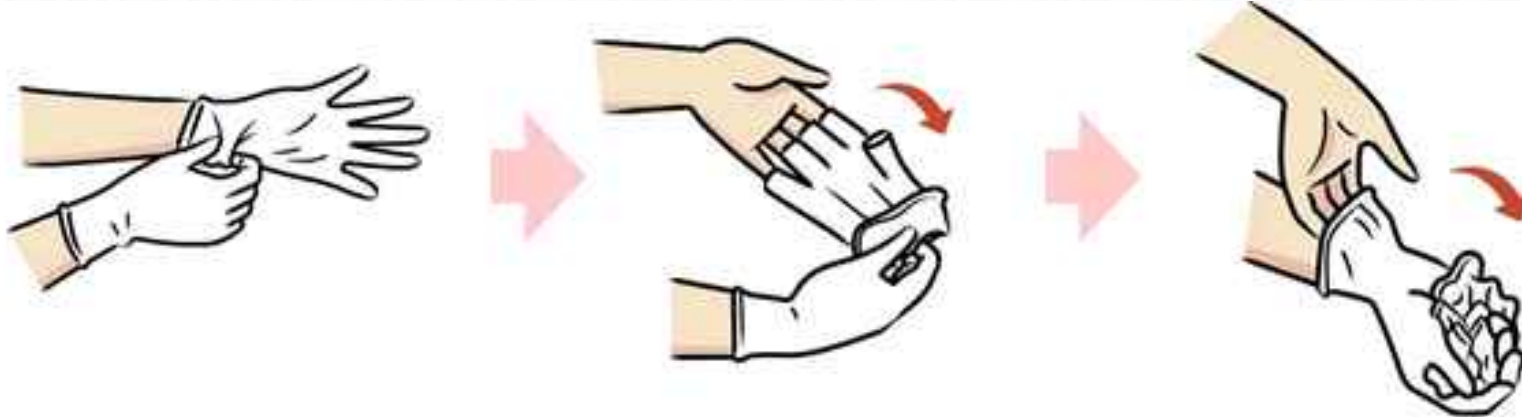
靴カバー有

清潔区域

カバー無

# ⑪手袋をはずし、新しい手袋をつける

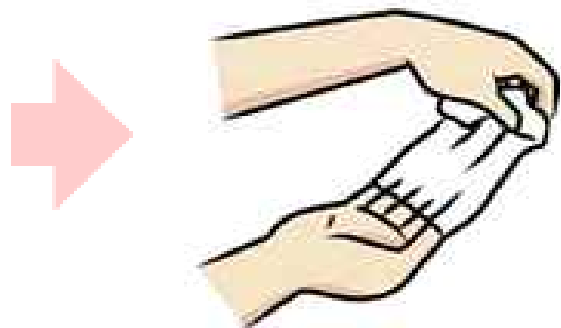
## ※手袋のはずし方について※



片方の手袋の袖口をつかむ

手袋を裏表逆になるようにはずす

手袋をはずした手を反対の手袋の袖口に差し込む



手袋を裏表逆になるようにはずす

表面は汚染の危険性があるため、触らないように注意しましょう！

## ※ペットボトルを置いていた部分の消毒※

- ペットボトルの袋をはずす。
- 袋を廃棄する。
- 消毒薬をかける。



- ペーパータオルの上から消毒薬をかけ、10分放置。



## ⑫消毒後の布を取り除く

- 周辺からペーパータオルを寄せて、廃棄します。その後、床を水拭きします。



- 消毒済みなので、ノロウイルスの残存は無いはずですが、万が一にも消毒不十分や、吐物のこびりつきがあった場合を考えて、外側から内側に寄せます。
- 濃い消毒成分や洗剤成分が床に残りますので、最後に床を水拭きしてください。



# ⑬内側のゴミ袋に封をする



## ⑭作業衣を脱ぎ、ゴミ袋に封をする

1. 手袋をはずす
2. エプロンをはずす。
3. マスクをはずす。

手袋、エプロン、マスクは  
外側のゴミ袋にいれる



★注意★表面は汚染の危険性があるため触れないように注意しましょう。



## ⑮ 手洗いとうがいを行う

- 全ての処理が終了したら、手洗いを行い、最後にうがいを行う。



**ご紹介した手順はあくまで1つの例です。  
基本的な考え方を理解したうえで、状況  
や施設に応じて工夫してください。**

